科目名	声優演技Ⅱ							2025
英語科目名	Voice Acting II							後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次 必/選	選	時間数	70	単位数	2	種別※	実技
担当教員	小形 満	教員の 実務経験			実務経職			

【科目の目的】

後期は声優としての舞台表現を学ぶ。朗読劇制作において、マイクを使った表現を観客の前で行うことで現場の緊張感と責 任感を身につける。

【科目の概要】

声優に求められる演技表現を身体表現も合わせて学ぶ。

【到達目標】

卒業制作で実施する卒業公演に向けて、表現の基礎を固めていくことを目標とする。 基本的には前期に学んだ夏の成果発表やマイク前の授業などで経験したことをいかし、『卒業後』を見据え、 一つひとつの課題に愚直に挑戦し研鑽を重ねていく。本読みで、自ら想像を膨らませ、役柄を深められる ように模索していく。それを立体的な表現に結びつける。

【授業の注意点】

授業態度(特に居眠りや私語)に関してはかなり厳しく対応する。また、公演の本番体制(通し稽古)に入ってからの連絡のない遅刻・欠席に関しては、役を降りてもらう可能性がある。後期の授業内では本番日が無いため、成績の評価方法は毎回の授業を成果発表とし、前回の授業からの伸び率を評価に組み込む。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。

評価基準=ルーブリック									
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	相応しい距離感を率 先して表現する事が	近距離も遠距離も相 手役に合わせて変え る事ができ、臨場感 がとてもある。	も遠距離も表現する	近距離または遠距離 どちらかがまだ身に ついていない。					
到達目標 B	その役そのものにな ることができ、観客 にもキャラがとても よく伝わっている。	観客にも分かりやす く、キャラが伝わる 表現がきる。	自分なりの解釈で役 に近づける事ができ る。	解釈はできている が、その役が話して いるようには聞こえ ない。					
到達目標 C	相手の台詞の時も、 身振り手振りを交 え、表情からも伝え られている。	自分の台詞の時は、 身振り手振りを交 え、表情からも伝え られている。	観客がいる事を意識 し、マイク前に立つ 事ができる。	声での表現はできて いるが、観客を意識 した立ち姿ができな い。					
到達目標 D	マイクを有効に使い、 距離感を表現する事が でき、誰もがはっきり と聞き取れる明瞭な滑 舌で演技する事ができ る。	誰もがはっきりと聞き取れる明瞭な滑舌 で演技する事ができる。		滑舌は良いが他の出 演者より音量が劣 る。またはその逆。	滑舌も曖昧で、声も 小さい。				
到達目標 E	自ら進んで仲間に声を かけ、意見を言い、相 手の意見と違っても受 け入れつつ自分の意見 も友好的に言える。	自ら進んで仲間に声をかけ、意見を言い、相手の意見と 違っても受け入れられる。	意見を言う事ができ、相手の意見も聞き入れる事ができる。	自分の意見を言う時 や相手の意見を聞く 時に感情的になる。					

【教科書】

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

※ ₹	重別は講義、実習	、演習のいずれかを記	人。				
	科目名	声優演技Ⅱ				2025	
	英語表記		Voice Acting II 学期			後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
			挨拶	元気な挨拶ができる			
1 発声1	表現に必要な声量が出る	声を出す	大きな声が出せる				
	ЩО	ロングトーン	長く息が続く				
		アテレコの基本的な知識の理解	プレスチェック	プレスをチェックできる			
2	アテレコとマイクワークの基礎		アテレコ用語	アテレコ用語を理解する			
	フラーク の 基礎		画に合わせる	画面を見ながら台詞を言える			
		演技の基礎的な考え	台本の読み方	アテレコ台本の読み方を覚える			
3	演技の理解		読解力	台本の読解力を身につける			
			届く台詞	相手に届く台詞が言える			
		1の演技 アテレコのテンショ ンを覚える	テンション	アテレコのテンションを覚える			
4	アテレコの演技		距離感	距離感を身につける			
			台詞の方向	台詞がどの方向に向いているのか			
	and the second s	(技 シーンの雰囲気と空間をつかまえる	シーンの雰囲気	そのシーンの雰囲気を理解する			
5 アテレコの演技	アテレコの演技		空間の理解	その空間の広さや時間を理解する			
			感情の流れ	台詞を言う前に感情の流れを作る			
	7-1	台詞の技術	キャラクター	キャラクターの特徴をつかむ			
6	アテレコの総合 演技		台詞のメリハリ	台詞のメリハリを考える			
			自己分析	プレイバックで自己分析できる			
	t and the state of	身体と声を使った表 現の基本	身体表現の基本練習	身体と声を連動させ、自然な表現ができる	5		
7	表現力の基礎		声の抑揚と強弱	感情や意味を豊かに伝える			
			即興練習	即興で感情や状況を表現する			
			自分らしさ	自分らしい演技を考えてみる			
8	表現力の応用1	力の応用1 自分らしい演技	得意不得意	得意または不得意なキャラクターを知る			
			苦手の克服	苦手の理由を考える			
		カの応用2 自由な演技	アドリブ	的確なアドリブが入れられるようになる			
9	表現力の応用2		身体を使う	身体を使った台詞が言えるようになる			
			長台詞	長台詞が言えるようになる			
	10 総合発表と フィードバック	 授業内容を統合した 20 発表	総合演技発表	アテレコの実践、発表		_	
10				具体的な改善点と強みの指摘			
			グループディスカッ ション	感想や学びを共有し、意識を高める			
		<u> </u>				_	
11		<u> </u>					

12												
13												
14												
15												

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等